

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	仙台赤門短期大学
設置者名	学校法人赤門宏志学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	看護学科	夜・通信			64	64	10	
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学のホームページで公表	https://sendai-akamon.ac.jp/disclosure
--------------	---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	仙台赤門短期大学
設置者名	学校法人赤門宏志学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人のホームページで公表 <https://www.akamon-koushi.ac.jp/disclosure>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医療法人理事長	2019. 3. 28 ～ 2022. 3. 27	組織運営体制への チェック機能
非常勤	株式会社代表取締役	2019. 3. 28 ～ 2022. 3. 27	組織運営体制への チェック機能
(備考) 上記の他 学外者である理事 1 名			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	仙台赤門短期大学
設置者名	学校法人赤門宏志学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 学科内に教務委員会を組織し、本委員会がシラバスの作成を実質的に担当している。ただしシラバスの最終形は、教授会の審議にかけ了承を得たものである。シラバスは、本学ホームページに掲載している。 シラバスに記載の内容は以下の通りである。授業科目名、単位数、時間数、履修年次、必修・選択の別、担当教員、授業の概要・目的、授業のキーワード、授業の到達目標、授業計画、教科書、参考文献・その他の資料、成績評価方法、備考。 なお、臨地実習については、上記シラバスに加えて、実習要項を作成して、全学生・全教員に配布している。実習要項の作成は、実習委員会が担当している。	
授業計画書の公表方法	大学のホームページで公表 https://sendai-akamon.ac.jp/disclosure
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 本学の履修認定は、前期定期試験、後期定期試験を実施して、それぞれ成績を判定している。成績判定案を教務委員会が作成し、それを教授会が審議している。最終的には学長名で単位を認定している。学年の進級は、前期試験と後期試験の両方の成績を総合的に判断して、可否を判定している。 なお、多くの授業科目において、定期試験に加えて、授業進行に合わせての小テストや課題レポートが学生に課されていて、それらへの取り組みを見ることによって、学習成果の把握に務めている。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価には、GPA 指標を採用している。GPA とは何か、その算出方法については、学生便覧に説明を記載してある。全 66 ページの学生便覧は、全学生・全教員に配布している。前期試験・後期試験のそれぞれの終了後には、学生及び保護者あてに、成績（GPA）を郵便にて通知している。 なお、成績の分布状況は、教務委員会が集計し把握している。芳しくない学生への補講などの対策も、当該委員会が対応している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	学生便覧に説明を記載。学生便覧は大学のホームページで公表 https://sendai-akamon.ac.jp/disclosure
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業の要件等については、学則第 31～33 条に定めている（修業年限以上の在学と、所定の単位の取得）。実際には、教授会にて卒業要件を満たすかどうかを審議して学長に意見を具申し、学長が卒業の可否を認定することになる。 なお、学則は学生便覧に記載されており、教授会規程は本学のホームページに公表している。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	大学のホームページで公表 https://sendai-akamon.ac.jp/disclosure

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	仙台赤門短期大学
設置者名	学校法人赤門宏志学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校法人のホームページで公表 https://www.akamon-koushi.ac.jp/disclosure
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告(書)	同上

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:	対象年度:	)
公表方法:		
中長期計画(名称:	対象年度:	)
公表方法:		

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 大学のホームページで公表 https://sendai-akamon.ac.jp/disclosure
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 看護学科
教育研究上の目的（公表方法：大学のホームページで公表 https://www.sendai-akamon.ac.jp/mind ）
（概要） 本学の教育理念と教育目的を実現するために、以下の能力を有する人材を育成することを目標とする。 ① 生命に対する畏敬の念をもち、人間の尊厳を感じ、人間尊重と人権擁護の立場に立った看護を実践する能力を有する人材 ② 看護専門職としての知識、技術をもち、看護を必要としている人を理解しようと関わり、看護を必要とする人の看護ニーズの沿った看護を実践する能力を有する人材 ③ 看護場面での人間関係を援助的関係にするために、学生の自己理解、他者理解を促し、誠実に対話関係を築き、創造的な看護を実践する能力を有する人材 ④ チーム医療やチームで介護を展開する場において、看護の役割を明確にし、チームの人々と協力し、保健・医療・福祉に貢献する能力を有する人材 ⑤ 学生が主体的に学ぶための授業の展開や学習環境をつくり、生涯にわたり看護を実践することを通して自己実現し、継続して学習する自己教育力を有する人材 ⑥ 地域社会・地方の医療に貢献する能力を有する人材
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学のホームページで公表 https://www.sendai-akamon.ac.jp/mind ）
（概要）本学の教育理念、教育目的、教育目標を実現することを意図したカリキュラムを履修し、卒業までに、以下に挙げる到達目標を身につけ、所定の単位を修得した学生に、短期大学士(看護学)の学位を授与する。 ① 人間の生命の成立や神秘、人間の尊厳を感じ、人間尊重と人権擁護の立場に立つ看護を考えることができる ② 医療、看護、福祉の場における人間の社会や生活に触れ、自然や文化的環境の中で自己の人間性の成長を実感し、表出できる ③ 健康レベルについて理解し、健康の概念、疾病の成り立ちとその回復過程を知り、関わりの中で人間を理解し、看護を実践する ④ 看護の本質を探究し、専門職としての看護を理解し、倫理的に行動することができる。 ⑤ 看護を対話的・援助的関係にして実践するには、自己理解と他者理解が重要な要素であることを知る ⑥ 誠実に看護すること、創造的な看護を実践するためには、看護の知識、技術を応用し対話的、援助的関係を築く能力が必要であることを知る ⑦ チームで実践する看護は、看護の役割を明確にし、チームメンバーと協力、協働して行うことができる ⑧ 看護の地域連携と在宅看護を担うために生活の場での看護の必要性和実践を知る ⑨ 人間は主体的存在であることを実感し、主体的に学ぶ喜びと意義を理解する

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学のホームページで公表 https://www.sendai-akamon.ac.jp/mind ）
（概要） 本学看護学科の教育理念，教育目標を実現するために，以下を意図して，カリキュラムを編成する。「生命に対する畏敬の念と人間尊重」「豊かな人間性を育てるための倫理性の涵養と主体性の育成」「看護の本質と関係性の探究」「専門職としての看護を实践するための知識と技術の統合」「看護の継続性と多職種との協働」「人間の自立と自己実現を援助する看護」をカリキュラム編成の主要概念とする。 人間形成と看護実践能力の育成を目指して，人間を理解し，豊かな人間性と科学的思考を育てながら，実習において統合し，看護の本質を踏まえた専門職としての看護を实践できるように基礎分野から専門基礎分野の科目，専門分野と統合分野の科目と実習を体系的に編成する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学のホームページで公表 https://www.sendai-akamon.ac.jp/mind ）
（概要） 本看護学科の教育目標，どのような人材を育成するのかに沿って，本学科で受け入れる学生の要件は，以下のとおりとする。 ① 生命や人間の尊厳に対して愛情と畏敬の念を抱き，豊かな感受性と高い倫理性を併せ有する学生 ② 地域社会の医療に貢献したいとの，宏大な志を有する学生 ③ 看護を必要としている患者，看護・医療チームの構成員との間で，人間関係を構築し，協調が可能な学生 ④ 看護専門職として自立していくための知識や技術の習得に，熱意を有する学生 ⑤ 看護を通じて，生涯にわたり自己教育し，自己実現したいとの夢を抱く学生

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学の基本組織は、学生便覧に記載してある。学生便覧は、全学生・全教員に配布している。

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	1 人	－					1 人
看護学科	－	3 人	2 人	7 人	6 人	7 人	25 人
	－	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1 人		人					1 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：大学のホームページで公表 https://www.sendai-akamon.ac.jp/teachers					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
看護学科	80 人	77 人	96.2%	240 人	218 人	90.8%	0 人	0 人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	80 人	77 人	96.2%	240 人	218 人	90.8%	0 人	0 人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
看護学科	62 人 (100%)	0 人 (%)	55 人 (88.7%)	7 人 (11.3%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	62 人 (100%)	0 人 (%)	55 人 (88.7%)	7 人 (11.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑥ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 様式第2号の3-1. に記載の通り、教務委員会でシラバスを作成し、ホームページに掲載し全学生・全教員に周知している。なお、授業時間割の詳細については、学生掲示板に掲示するとともに、学生のメールアドレスにも配信している。

⑦ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 様式第2号の3-2. 3. 4. に記載の通りである。				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	看護学科	100 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学案内及び大学のホームページで公表 https://www.sendai-akamon.ac.jp/facilities

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
	看護学科	800,000 円	200,000 円	550,000 円	
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） 学生が日本学生支援機構に奨学金を申し込むに当たっては、本学事務部学生係が、懇切に対応している。また、看護学生のために、多数の病院奨学金制度があるが、東北地方の病院の情報を集め、そのリストを学生と保護者に周知し、便宜を図っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） 学内にキャリア支援委員会を設置して、就職関連会社からの講師派遣による就職説明会を開催、病院見学会の案内、インターンなどの情報提供を担当している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） 健康管理委員会を設置して、学生の健康管理の実務を担当している。校医を依頼し、校医と健康管理委員とで、年に2回、健康管理会議を開催して、学生の健康状況を把握、問題点への対応を行っている。また、非常勤ではあるが、カウンセラーも依頼し、学生の相談に乗っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学のホームページに教員紹介の欄を設け、その中で各教員の研究活動（論文や学会発表）を報告している。 https://www.sendai-akamon.ac.jp/teachers
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F204310101039
学校名	仙台赤門短期大学
設置者名	学校法人赤門宏志学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		32人	29人	32人
内 訳	第Ⅰ区分	21人	19人	
	第Ⅱ区分	—	—	
	第Ⅲ区分	—	—	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				32人
（備考）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（1）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

（2）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下）		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	0人
計		0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間		前半期	0人	後半期	0人

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		0人	0人
G P A等が下位4分の1		0人	—
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		0人	0人
計		0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。